

大きくなって戻って来てね!

村内保育園の年長児
サクラマス稚魚の放流を体験



4月28日、荒川水辺プラザを会場に、サクラマス稚魚の放流式が行われ、村内保育園の年長児45人が参加しました。これは、園児に河川や川の生き物に親しんでもらおうと毎年行われているもので、荒川漁業協同組合（中倉虎治組合長・辰田新）と村の共催によるものです。

当日は、昨年11月に産まれた体長約8センチの稚魚約2万匹が準備され、園児たちは稚魚の入ったバケツを手に「大きくなって戻って来てね」と何度も放流。稚魚の行方を見えなくなるまで目で追っていました。

須貝汐那ちゃん（湯沢）は「お魚を川へ放すのが楽しかった。大きくなって帰って来てほしい。またやってみたい」と初めての体験を楽しんでいました。

今回放流したサクラマスの稚魚約2万匹のうち、成魚となって荒川に戻ってくるのは約3年後。どれくらい大きくなって戻ってくるのか、今から楽しみます。



今年度の活動がスタート!

～ 関川村やまゆり大学開講式 ～

5月23日、村民会館大ホールを会場に、やまゆり大学開講式が行われ、会員約80人が参加しました。

今年度第1回目を迎えた講座では、県立歴史博物館の大楽和正さんを講師に招き、「家の神さま仏さま」をテーマに講演会を実施。神棚や仏壇の歴史について講演が行われ、参加者は講師の話に興味深く耳を傾けていました。

高橋カツ子さん（金保）は「各地でさまざまなしきたりがあることなど、初めて聞くことが多く勉強になりました。やまゆり大学に参加して今年で3年目になりますが、皆さんと楽しく学ばせていただいています。今年はぜひ、県立植物園に行ってみよう」と話していました。

やまゆり大学では、今年度も視察旅行や村内史跡めぐりなど10回の講座を予定しています。



郷土料理が満載!
うんめえごっつおレシピ集完成

村の伝統的な食文化の継承や地産地消の推進などを目的として、このたび、村食生活改善推進員協議会（伊東ヤイ子会長・下関）が「関川村うんめえごっつおレシピ集vol.2」を作成しました。

これは、キラリと光る地域活性化事業を活用し作成したもの。レシピ集には、94種類の郷土料理が季節ごとに掲載されていて、見やすく、そして使いやすい一冊となっています。

伊東ヤイ子会長は「この本は、関川村の一般的な家庭料理をまとめたもの。地元で忘れられてゆく料理をぜひ作って食べて、旬を知り、後世に伝え残してほしい」と話していました。

レシピ集は1冊1,000円で販売しています。購入を希望される方は、役場住民福祉課健康介護班（☎64-1472）又は村民会館（☎64-2134）までお問い合わせください。

大勢の来場者で賑わう 子どもも大人も大満足 堀と柳の春まつり

天候に恵まれた5月25日、役場前の柳とせせらぎ通りを中心に「堀と柳の春まつり」が開催され、大勢の家族連れなどで賑わいました。主催は、下関堀と柳通りの会（佐藤成一会長・下関）。



まつりは、えちごせきかわ龍泉太鼓と関川中学校吹奏楽部の演奏で盛大に幕開け。今回も佐藤邸や津野邸など昔のお屋敷特別公開や、関川ゼミナールのメンバーがガイドを務めたわけしよ（若者）ガイドの街並見学ツアー、フットケア&足湯コーナーなど内容盛りだくさん。中でも、ダンボールで作られた約180センチある力士を使った巨大紙相撲では、役場前の特設土俵で子どもも大人も一緒になり、熱戦が繰り広げられました。

巨大紙相撲に親子で参加した高橋陽菜さん（小見）は「全部勝つことができ、楽しかったし、優勝できて嬉しかった。さいきょうまる」という名前は自分で考えました。またやってみたい」と笑顔がこぼれていました。

5月18日、ふれあいどくむを会場に「平成26年度春季消防演習・ポンプ操法競技会」が行われました。

1か月にわたる 練習の成果を披露！

春季消防演習・ポンプ操法競技会



優勝は第2分団上関隊！ 6月22日開催の郡市大会出場へ

晴らしい操法を披露し、熱戦を繰り広げました。結果は、第2分団上関隊が接戦を制し4年ぶりに優勝。6月22日にグリーンパーク荒川（村上市）で行われる郡市ポンプ操法競技会に出場する予定です。

◆競技会成績
▽小型ポンプの部
優勝 第2分団上関隊
第2位 第1分団霧出隊
第3位 第1分団下関隊

◆優秀選手賞 *敬称略

▽指揮者 小池 祐樹

(第1分団下関隊・下関)

▽1番員 星 秀平

(第1分団下関隊・下関)

▽2番員 渡邊 俊

(第2分団上関隊・上関)

▽3番員 船山 優輝

(第1分団四ヶ字隊・打上)



◆優勝チーム選手 *敬称略

渡邊浩之・渡辺 隆

渡邊 俊・渡辺寿和

渡邊拓也